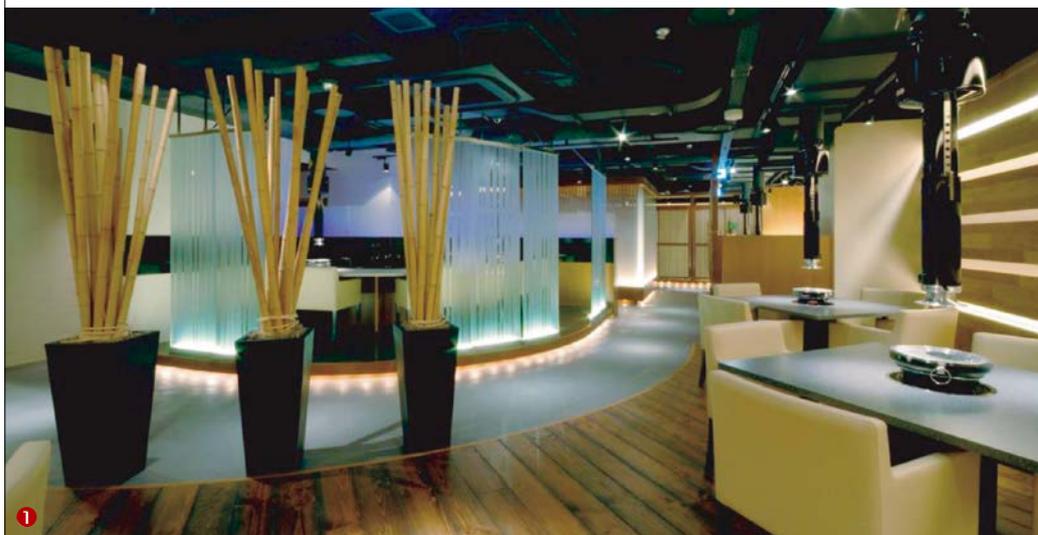


# 9 建築設計にインテリアデザインの専門スキルをプラス

インテリア市場の拡大に対応



1



2



3

## ①焼肉店内装・設計（炭火焼肉 味楽）

高級感を出して差別化をねらった焼肉店。竹をモチーフにしたオブジェやガラススクリーンで和モダン空間をデザインした。卓上へ落とす排気筒を極力細くして視線を遮らない工夫も。

## ②オフィス改装（司法書士事務所）

店舗やカフェのようにトレンドのブルックリテイストで仕上げた内装。無機質なコンクリートの躯体にナチュラルな木とアイアンのブラックを配し、オフィス空間に時代の風を呼び込んだ。

## ③エステサロン内装・設計（ANGE）

エステサロンの入りにくさを解消するデザイン。正面を避けて横からのアプローチを設け、入口にネイルサロンに見えるディスプレイを置いた。

## 河村利枝子さん

（かわむら りえこ）  
一級建築士、インテリアプランナー  
環境福祉コーディネーター  
デザインオフィス 遊空間 代表  
一級建築士事務所  
株式会社 アトリエK 専務取締役



### 《経歴》

1972年北海道女子短期大学工芸美術科卒。設計事務所勤務後、1979年株式会社アトリエK一級建築士事務所を夫と共に設立、専務取締役に就任。2000年同社インテリア部門であるデザインオフィス 遊空間を設立、現職となる。2006年～2009年北海道インテリアプランナー協会会長。現在は同理事を務める。

### 《実績》

- ・ホテル アフェト（ホテル設計監理）
- ・P-BOX（マンション設計監理）
- ・炭火焼肉 味楽（店舗内装設計）
- ・エステサロン アンジュ（店舗内装設計）
- ・Re Leaf（レストラン設計監理）
- ・司法書士事務所 改装（オフィス内装設計）
- ・平岸脳神経クリニック（クリニック設計・監理）  
ほか多数

## 時代の変化に合わせて

札幌でインテリアデザインと建築設計の事務所を開いています。スタートは設計事務所でしたが、平成になってリノベーションやリフォームといったインテリアの仕事が新築物件より多くなってきたため、建築とは別にインテリアの仕事を請ける器が必要だと感じ、2001年にインテリア部門としてインテリアデザインオフィスをつくりました。インテリアプランナーの資格を取得したのも同じ流れで、資格制度ができたのを受けて一級建築士の資格とは別に取得しました。時代は確実に変わってきていました。

この世界に入るきっかけは、学生時代にグラフィックデザインを学び、アルバイトでデザイン事務所をいくつか経験したことです。当時は札幌オリンピックで札幌の街が急成長しているときで、店舗の改装やショーウィンドウのディスプレイデザインをしたり、チラシのデザインやパースを描いたりする仕事がたくさんありました。スタイリストとかイン

テリアデザイナーという言葉も確立されていないところで、今で言えばそういう仕事に関わっておりました。

そこで建築パースを覚えたく、設計事務所就職しました。当時設計事務所は華やかなデザイン業界とは別のいまだ徒弟制度が残る男社会で、女性はほとんどいませんでした。今でこそ、設計の仕事は女性が活躍できる業務として認知されておりますが、私の時代、現場にも立ち入ることができませんでした。その中で仕事を覚えながら二級建築士の資格を取りました。その後職場の同僚だった夫と独立し、今の設計事務所を開設。住宅・マンション・商業施設・公共施設・ホテル・クリニックと、ジャンルを問わずあらゆる物件を手掛けております。

## つながりを大切に視野を広げる

ネット社会の今、施主の持つトレンド情報が濃密になり、デザインに対する要望はますます高度化・専門化しています。司法書士事務所のオフィス改装（写真②）も、HPの作

品を見て「普通の事務所でなくこういうテイストでやりたい」という依頼でした。長くインテリアデザインの仕事についておりますが、人が関わる空間をつくるこの仕事なくなることはありませんし、これでよしと思うことはありません。次はもっと良いものを目指していきます。だから永続きしているのかもかもしれません。

次から次へと新しいものが生まれ、ユーザーの暮らし方・生き方も多様化してきます。常に新しい感覚を磨いていないとついていけません。歴史あるもの、新しいもの、残さなければならぬもの等、実際に色々なものを見て、触れて、感じて、本物を知り、自分の中にストックすることが必要です。

インテリアデザイナーを目指すならインテリアプランナーの資格取得はキャリアUPに必要なスキルのひとつです。私自身、資格取得後インテリアプランナー協会に入り、情報交換や様々な業種との人のつながりができたことは、その後の仕事においてもプラスになりました。仕事は結局人とのつながりだと思います。